



# 機械受注統計調査報告

## Machinery Orders

令和 5 年 1 ~ 3 月 見 通 し

Forecast for Jan. - Mar. 2023



令和 5 年 2 月

February 2023

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics

Economic and Social Research Institute

Cabinet Office, Government of Japan

## ( 調 査 の 概 要 )

機械受注見通し調査は、機械製造業者の受注する設備用機械について、四半期ごとに翌期の受注見通し等を調査したものである。調査対象は「機械受注実績調査」の対象となっている主要な機械製造業者、また調査時点は毎四半期末であり、今回調査の見通し時点はおおむね2022（令和4）年12月下旬と推定される。

1987（昭和62）年7～9月見通し調査より、調査対象社数を178社から280社に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月より、機種分類の「電子・通信機械」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

## ( 使 用 上 の 注 意 )

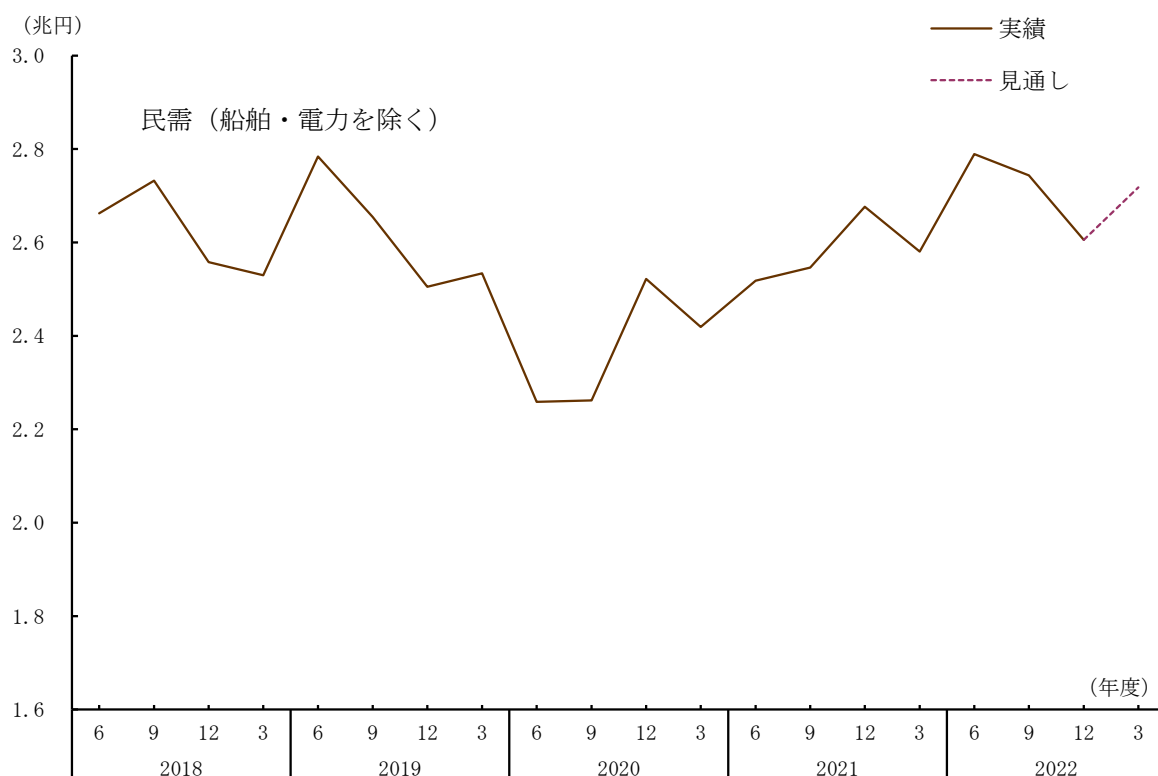
- 1．1989（平成元）年4～6月実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 2．本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。

## 2023（令和5）年1～3月の機械受注見通し

### 1. 集計結果の概要

- (1) 2023年1～3月の機械受注見通し額について、調査対象企業の見通しを集計したところ、受注総額で8兆6,594億円、前年同期の実績に対し3.1%の減少、「船舶・電力を除く民需」で2兆9,626億円、同3.9%の増加という結果になった。
- (2) これに最近における「達成率」を乗じると、受注総額で前年同期に対し5.7%増、「船舶・電力を除く民需」で同4.1%増の見通しとなった。
- (3) 季節調整値により、前期（2022（令和4）年10～12月）の実績に対する比率を見ると、受注総額で3.2%増、「船舶・電力を除く民需」で4.3%増の見通しとなった。

第1図 受注額の実績と見通し（季節調整系列）



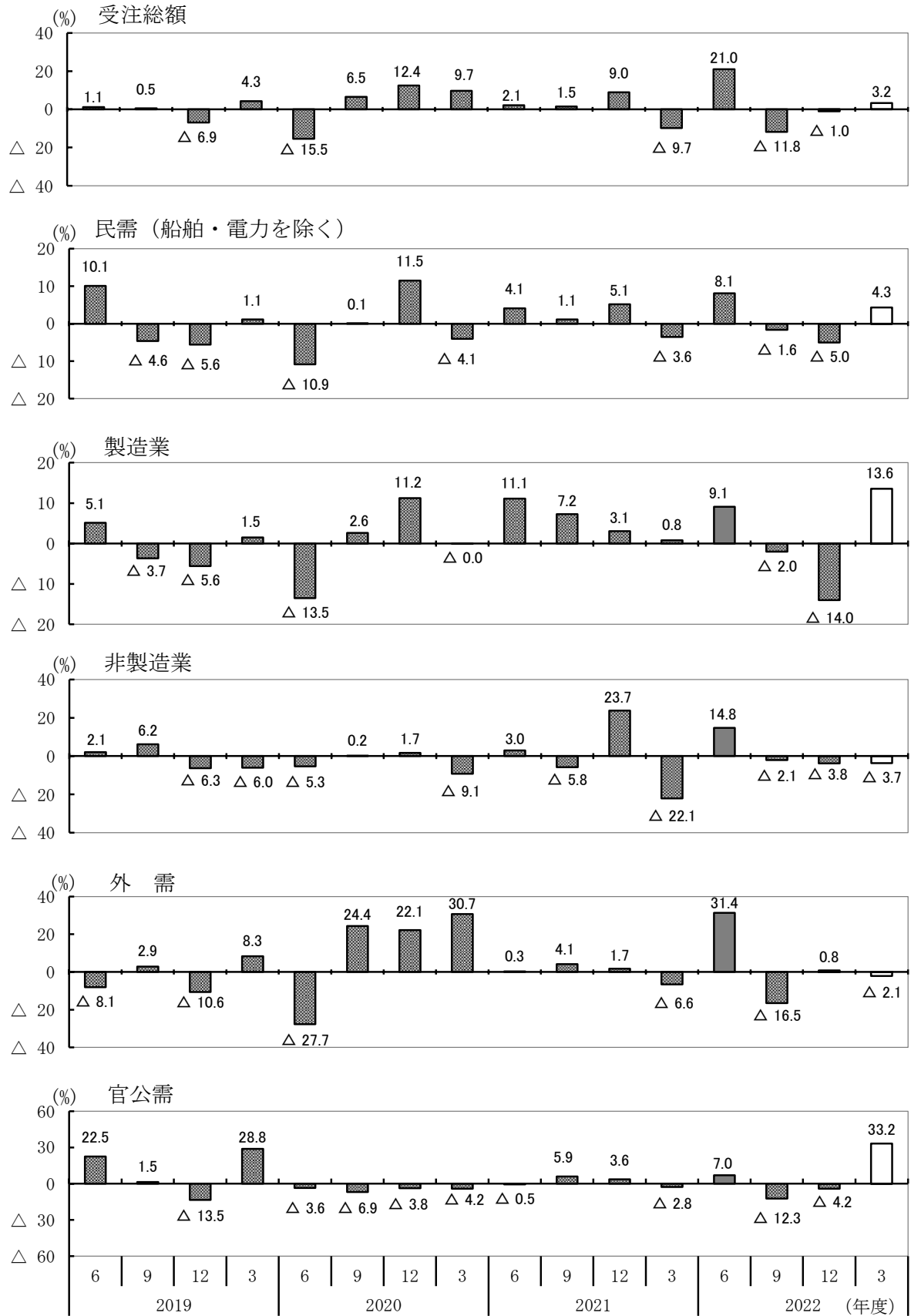
第1表 需要者別見通し額（季節調整系列）

（単位：100万円，％）

需要者		期	2022年 (令和4年) 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2023年 (令和5年) 1～3月 見通し
実 数	受注総額		9,353,136	8,248,822	8,165,389	8,429,937
	民需		3,261,156	3,192,220	2,910,013	3,000,087
	(船舶を除く)	(	3,193,930)	( 3,102,365)	( 2,913,943)	( 2,937,512)
	(船舶・電力を除く)	(	2,788,824)	( 2,743,788)	( 2,605,392)	( 2,717,894)
	製造業		1,430,063	1,401,453	1,205,434	1,368,875
	非製造業		1,802,620	1,764,972	1,697,507	1,634,496
	(船舶・電力を除く)	(	1,368,421)	( 1,349,000)	( 1,412,118)	( 1,345,681)
	官公需		870,945	764,164	732,402	975,450
	外需		4,811,841	4,019,935	4,051,561	3,967,304
	代理店		367,500	356,680	356,885	356,308
前 期 比	受注総額		21.0	△ 11.8	△ 1.0	3.2
	民需		14.3	△ 2.1	△ 8.8	3.1
	(船舶を除く)	(	12.2)	( △ 2.9)	( △ 6.1)	( 0.8)
	(船舶・電力を除く)	(	8.1)	( △ 1.6)	( △ 5.0)	( 4.3)
	製造業		9.1	△ 2.0	△ 14.0	13.6
	非製造業		14.8	△ 2.1	△ 3.8	△ 3.7
	(船舶・電力を除く)	(	7.6)	( △ 1.4)	( 4.7)	( △ 4.7)
	官公需		7.0	△ 12.3	△ 4.2	33.2
	外需		31.4	△ 16.5	0.8	△ 2.1
	代理店		11.7	△ 2.9	0.1	△ 0.2

- (注) 1. 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。  
 2. 個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値と一致しない。

第2図 需要者別機械受注の動向（季節調整系列、前期比）



（備考）2022年10～12月期以前は実績値。

## 2. 需要者別見通しについて

### (1) 需要者別見通し額（季節調整済系列）

2023年1～3月の機械受注見通し額（季節調整値）を前期比でみると、受注総額は2022年10～12月1.0%減の後、2023年1～3月には、3.2%増の見通しとなった（第1表）。

これを需要者別にみると、民需は2022年10～12月8.8%減の後、2023年1～3月には非製造業（3.7%減）が減少するものの、製造業（13.6%増）が増加することから、合計では3.1%増となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は2022年10～12月5.0%減の後、2023年1～3月には4.3%増となる見通しになっている。

機械受注の見通し額（季節調整済系列）は、単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整済）を乗じ、単純集計値の季節指数で除して求めている（「達成率」については後述）。

参考表 需要者別見通し額(季節調整値)の算出

	単純集計値	3期平均 達成率	原数値	季節指数	季節調整値
受注総額	8,659,446	109.1	9,447,194	112.1	8,429,937
民需	3,355,894	101.1	3,391,332	113.0	3,000,087
(船舶を除く)	3,315,825	100.1	3,318,481	113.0	2,937,512
(船舶・電力を除く)	2,962,624	100.3	2,970,381	109.3	2,717,894
製造業	1,465,498	100.3	1,470,052	107.4	1,368,875
非製造業	1,890,396	100.8	1,904,903	116.5	1,634,496
(船舶・電力を除く)	1,504,218	100.0	1,503,497	111.7	1,345,681
官公需	1,055,812	108.7	1,147,872	117.7	975,450
外需	3,870,699	115.2	4,457,491	112.4	3,967,304
代理店	377,041	102.3	385,575	108.2	356,308

(2) 需要者別見通し額（原系列）

2023年1～3月の機械受注見通し額について、単純集計値をみると、受注総額は8兆6,594億円であり、前年同期の実績に比べ、3.1%減となった（第2表）。

平均達成率調整後の見通し（原系列）をみると、受注総額では、2023年1～3月には前年同期比5.7%増となる見通しになっている。需要者別にみると、民需は、製造業（3.4%増）、非製造業（1.8%増）がともに増加するとみられることから、3.0%増となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は4.1%増となる見通しになっている。

第2表 需要者別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

需要者		期	2022年	10～12月	2023年	(参考)
			(令和4年) 7～9月 実績		実績	
実 数	受注総額		8,011,020	7,787,746	9,447,194	8,659,446
	民需		3,070,846	2,758,041	3,391,332	3,355,894
	(船舶を除く)	(	3,034,766)	( 2,746,964)	( 3,318,481)	( 3,315,825)
	(船舶・電力を除く)	(	2,730,169)	( 2,473,502)	( 2,970,381)	( 2,962,624)
	製造業		1,377,738	1,171,597	1,470,052	1,465,498
	非製造業		1,693,108	1,586,444	1,904,903	1,890,396
	(船舶・電力を除く)	(	1,356,874)	( 1,306,025)	( 1,503,497)	( 1,504,218)
	官公需		705,996	641,240	1,147,872	1,055,812
	外需		3,877,819	4,019,154	4,457,491	3,870,699
	代理店		356,359	369,311	385,575	377,041
前 年 同 期 比	受注総額		5.0	△ 4.9	5.7	△ 3.1
	民需		8.7	△ 12.4	3.0	1.9
	(船舶を除く)	(	7.7)	( △ 9.7)	( 2.2)	( 2.1)
	(船舶・電力を除く)	(	7.9)	( △ 3.6)	( 4.1)	( 3.9)
	製造業		10.6	△ 8.4	3.4	3.1
	非製造業		7.1	△ 15.2	1.8	1.1
	(船舶・電力を除く)	(	5.1)	( 1.1)	( 4.5)	( 4.5)
	官公需		△ 4.3	△ 13.1	△ 5.4	△ 13.0
	外需		4.9	2.6	8.8	△ 5.5
	代理店		△ 2.6	△ 4.0	15.7	13.1

(注) 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。従って、各部門の合計値は受注額合計値と一致しない。

### (3) 需要者別達成率の動向

機械受注額の「見通し(単純集計値)」に対する「実績」の乖離を調整するために、両者の比を「達成率」として計算し、直近の3期平均達成率を見通しの「単純集計値」に乗じている。

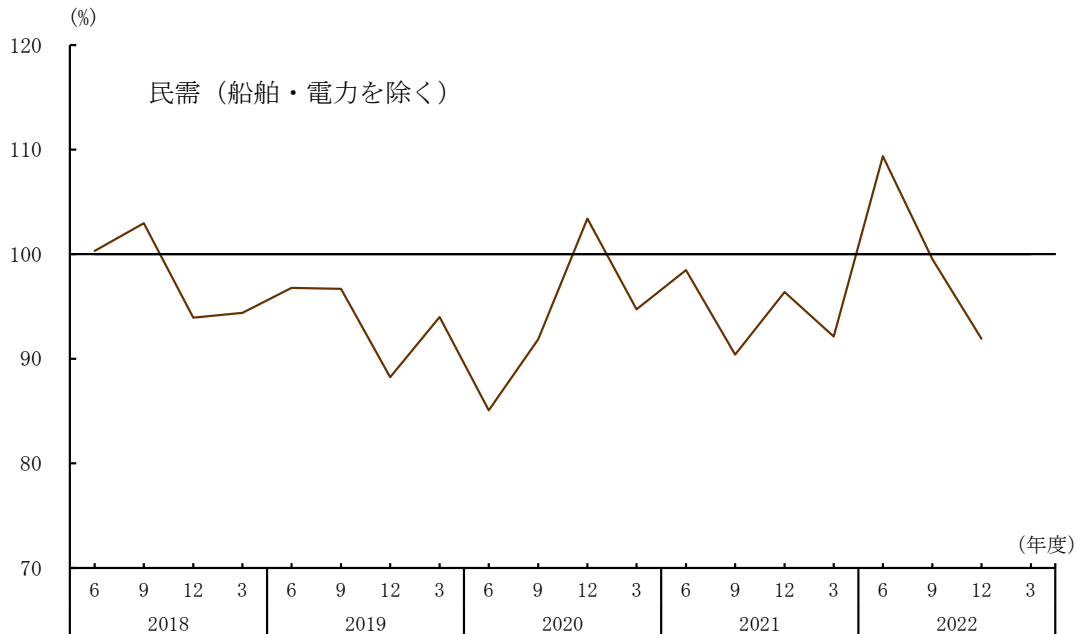
最近における達成率(季節調整済)の動向は、第3図及び第3表のとおりである。

2022年10～12月の機械受注見通し達成率をみると、受注総額では99.5%と100%を下回り、7～9月の達成率と比べ4.1ポイント低下した(第3表)。

民需(90.4%)は同13.6ポイント低下、「船舶・電力を除く民需」(91.9%)は同7.6ポイント低下した。製造業(86.5%)は同18.8ポイント低下、「非製造業(船舶・電力を除く)」(97.2%)は同1.7ポイント増加した。



第3図 達成率（季節調整系列）



（備考）達成率(季節調整値)は、(実績(季節調整値)/見通し(単純集計値、季節調整値))で算出している。

第3表 需要者別達成率（季節調整系列）

（単位：％）

需要者	期	2022年 (令和4年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	3期平均
受注総額		108.2	124.2	103.6	99.5	109.1
民需		92.2	108.8	104.0	90.4	101.1
	(船舶を除く)	( 92.6)	( 108.0)	( 101.5)	( 90.7)	( 100.1)
	(船舶・電力を除く)	( 92.1)	( 109.4)	( 99.5)	( 91.9)	( 100.3)
製造業		95.8	109.2	105.3	86.5	100.3
非製造業		90.1	107.5	101.5	93.3	100.8
	(船舶・電力を除く)	( 88.7)	( 107.1)	( 95.5)	( 97.2)	( 100.0)
官公需		100.1	125.9	116.5	83.7	108.7
外需		127.0	135.5	104.3	105.7	115.2
代理店		116.3	111.2	95.4	100.1	102.3

3期平均は2022年4～6月から10～12月までの3期の単純平均。

### 3. 機種別見通しについて

#### (1) 機種別見通し額

2023年1～3月の受注見通し（原系列）を機種別に前年同期比でみると、船舶（148.7%増）、道路車両（26.3%増）、航空機（12.1%増）、産業機械（12.0%増）及び重電機（5.6%増）で増加する見通しになっている。

反面、原動機（14.3%減）、電子・通信機械（9.5%減）、鉄道車両（8.1%減）及び工作機械（2.4%減）で減少する見通しになっている（第4表）。

第4表 機種別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

機 種		期	2022年	10～12月	2023年	(参考) 単純集計値
			(令和4年) 7～9月 実績		実績	
実 数	原 動 機		631,282	531,361	711,309	681,839
	重 電 機		553,216	558,291	589,235	583,968
	電子・通信機械		2,766,439	2,519,517	2,779,735	2,686,067
	産 業 機 械		2,603,357	2,558,970	2,890,057	2,686,418
	工 作 機 械		322,526	297,414	318,297	300,607
	鉄 道 車 両		181,868	232,715	220,046	160,950
	道 路 車 両		464,976	471,901	479,506	477,199
	航 空 機		229,803	274,768	578,943	415,765
	船 舶		257,553	342,809	1,087,699	666,633
	合 計		8,011,020	7,787,746	9,277,507	8,659,446
前 年 同 期 比	原 動 機		36.7	△ 20.3	△ 14.3	△ 17.8
	重 電 機		△ 1.5	△ 8.5	5.6	4.7
	電子・通信機械		△ 4.4	△ 16.0	△ 9.5	△ 12.5
	産 業 機 械		8.4	△ 0.1	12.0	4.1
	工 作 機 械		6.2	△ 8.6	△ 2.4	△ 7.8
	鉄 道 車 両		91.6	130.6	△ 8.1	△ 32.8
	道 路 車 両		29.1	39.9	26.3	25.7
	航 空 機		12.3	17.7	12.1	△ 19.5
	船 舶		△ 25.8	△ 3.5	148.7	52.4
	合 計		5.0	△ 4.9	3.8	△ 3.1

(注) 見通しの計数は、各機種ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率を乗じて算出している。従って、各機種の合計値は受注額合計値と一致しない。

## (2) 機種別達成率の動向

2022年10～12月の機種別達成率をみると、鉄道車両（180.7%）が前期と比べ48.7ポイント、船舶（106.6%）が同40.3ポイント、重電機（91.8%）が同1.5ポイント上昇した（第5表）。

反面、航空機（103.9%）が同33.8ポイント、原動機（100.5%）が同10.9ポイント、工作機械（95.5%）が同9.6ポイント、産業機械（99.0%）が同9.0ポイント、電子・通信機械（96.5%）が同4.5ポイント、道路車両（94.7%）が同3.4ポイント低下した（第5表）。

### 第5表 機種別達成率

(単位：%)

	2021年 (令和3年) 10～12月	2022年 (令和4年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
原 動 機	129.5	110.0	101.1	111.4	100.5
重 電 機	117.9	100.0	120.7	90.3	91.8
電子・通信機械	112.8	107.8	113.0	101.0	96.5
産 業 機 械	108.2	110.6	115.7	108.0	99.0
工 作 機 械	117.8	112.9	117.1	105.1	95.5
鉄 道 車 両	55.8	110.5	97.4	132.0	180.7
道 路 車 両	86.4	110.4	108.7	98.1	94.7
航 空 機	131.0	138.4	176.1	137.7	103.9
船 舶	89.9	148.7	316.6	66.3	106.6
合 計	109.5	111.6	119.6	102.7	99.1

(注) 達成率は（実績（原数値）／見通し（単純集計値））で算出している。

第6表 機械受注見通し調査（2022年12月調査）  
2023年1～3月受注見通し額集計結果表

（単位：100万円）

需要者別	機種別						
	原 動 機	重 電 機	電子・通信機械	産 業 機 械	工 作 機 械		
受 注 総 額	681,839	583,968	2,686,067	2,686,418	300,607		受 計
民 需	424,671	300,405	1,275,194	992,696	127,265		民 計
製 造 業	237,635	80,121	407,719	540,113	125,472		製 計
非 製 造 業	187,036	220,284	867,475	452,583	1,793		非 計
内 電 力 業	140,014	141,237	42,014	29,925	0		電 力
官 公 需	19,559	73,412	387,559	184,332	14		官 計
外 需	237,550	124,191	1,005,729	1,381,593	168,448		海 外
代 理 店	59	85,960	17,585	127,797	4,880		代理店

需要者別	機種別					
	鉄 道 車 両	道 路 車 両	航 空 機	船 舶	合 計	
受 注 総 額	160,950	477,199	415,765	666,633	8,659,446	受 計
民 需	83,094	49,584	62,916	40,069	3,355,894	民 計
製 造 業	6,125	498	60,723	7,092	1,465,498	製 計
非 製 造 業	76,969	49,086	2,193	32,977	1,890,396	非 計
内 電 力 業	11	0	0	0	353,201	電 力
官 公 需	7,126	3,349	231,871	148,590	1,055,812	官 計
外 需	70,316	283,920	120,978	477,974	3,870,699	海 外
代 理 店	414	140,346	0	0	377,041	代理店